



一斉放水を行う町消防団

日野町消防団消防出初式  
 壮麗な水のアーチが描く、防火への誓い

町消防団（廣川光保団長）の出初式が、4月3日、黒坂小学校体育館で開かれました。式典では、日本消防協会会長表彰など優秀な団員25人へ表彰状が授与されました。式典終了後は、黒坂駅前から町公民館前まで、消防車と消防団員が行進し、カワコ公園向かいの日野川沿いで一斉放水を行いました。多くの住民が見守る中、団員たちは防火・防災、そして一年の活躍を誓いました。



子どもたちに笑顔で手渡す飯田さん

子どもたちの健全な育成に役立つように  
 町仏教会がたく鉢で寄せられた浄財の一部を寄付

日野町放課後子ども教室（根雨小・黒坂小）の活動に役立つようにと、日野町仏教会（飯田頼昭会長）が、3月9日、根雨小学校を訪れ、長縄跳びなどの遊具を寄贈しました。これは、町仏教会が修行と社会福祉活動の一つとして行っている「たく鉢」で寄せられた浄財の一部から寄贈されたものです。寄贈品を受け取った子どもたちは早速、長縄跳びを楽しむなど、みんなで仲良く遊べる喜びに感謝していました。なお、黒坂小学校の同教室には、石油ファンヒーターが寄贈され、冬期間の活動に役立てられる予定です。

## 20年の感謝の気持ちを込めて

### 日野国際交流協会成人式を行いました（同協会活動終了のご報告）

3月13日、日野国際交流協会の成人式を行いました。20年の活動を卒業すると同時に会員の皆さまの門出を祝うという意味を込めて「成人式」としました。出席者の中にはALT（外国語指導助手）の方や、町外の方など、当日は30人以上が出席され、活動内容をまとめたDVDを鑑賞したり、思い出話に花を咲かせたりと、とても盛大な式となりました。最後の最後まで、多くの方々とのつながりを実感することができたことは、とても貴重な経験だったと感じています。

なお、日野国際交流協会は平成27年度をもって、活動を終了させていただきます。本会は平成7年に結成、20年もの間、国際交流活動を続けました。これもひとえに、町内の方々からの大きな支援があったからだと考えています。

これまでの活動内容を振り返ると、日本語教室から始まり、韓国寧越郡との交流やふれあいまつりへの出店、クリスマス会、そして、平成9年に開かれた「夢みなと博」への参加など、20年間に数えきれないほ



それぞれの思い出を胸に

どの思い出が詰まっています。

この会の活動が終了してしまうことは寂しいですが、また新たな機会があればよろしくお願いたします。

最後になりましたが、長い間ご愛顧いただきありがとうございました。

日野国際交流協会会長 小谷 博徳



# ふるさととの魅力を再発見

## 黒坂小学校3年生が調べ学習の成果を発表



写真など資料を使いながら成果を発表



「もっと日野町を好きになった」と笑顔

4人は、「オシドリのおすとメスの見分け方やアメリカオシドリとの違い」「鶺鴒の池にまつわる伝説が4つある」といったことを報告。発表を聞いた景山町長らは「私たちもまだ知らないことを皆さんに教えてもらいびっくりした」と感心し、「豊かな自然や文化にはごくまれにこの日野町をいつまでも大切にしたい」と語りかけていました。

発表を終えた後、4人は「日野町は人もやさしいし、自分がオシドリだったら住みやすいと感じた」「大人になってもすてきな町であってほしい」などと笑顔で話していました。

黒坂小学校の3年生4人が、日野町にまつわるさまざまなことについて調べ、3月11日、役場を訪れ発表会を行いました。

これは、子どもたちが自分の住む町のことについて調べることで、興味や愛着を持ってもらおうと、3年生の国語の授業の一環として行われたものです。

当日は、荒木若菜さん（黒坂）、小倉啓太郎さん（下黒坂）、落合隼さん（黒坂）、頭本花蓮さん（下黒坂）の4人が、それぞれ「オシドリの生態」「オシドリグループ」「鶺鴒の池の伝説」「鶺鴒の池マラソン」について調べた成果を発表しました。

# 協力隊通信 vol.4

## 石村 隊員編①

地域おこし協力隊として活動する4人の隊員の日々の活動などを紹介します。第4回目となる今回は、石村勇人隊員（上菅）編です。



ゆったりと過ごせる空間にしています

地域おこし協力隊になり2年半が経ちました。県内外から100人以上の友人が日野町に遊びに来てくれ、ここでの暮らしを体験していきました。

この経験と、上菅駅前の立地を生かし、残り半年の任期の間に民泊施設をオープンします。その名も、「旅人民泊『てご庵』～奥日野里山菅福集落の暮らし～」。これから普段見ない若者や外国人が上菅付近に増えるかと思いますが、地域おこし協力隊の作業や活動を手伝っていただき、地域貢献活動『てご

**民泊始めます！**  
地域の人もぜひ、気軽に立ち寄ってみてください。  
お待ちしております。



した旅人には食事をふるまうなど、おもてなしをしようと考えています。

日々の田舎暮らしを、意識ある旅人に体験してもらうことで、移住につながるきっかけになれば良いと思います。

物騒な世の中とニュースは言っていますが、最近の旅をしている若者は、いいヤツ多いですよ。ぜひ、温かく見守りください。何とぞよろしくお願いします！



旅の途中、立ち寄ってくれた清水さん